

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		810309 サマースクール助成事業		担当部課	部課コード	810300	04-2998-9242	
事業コード		810309		社会教育課				
開始年度		昭和 59 年度		終了年度	年度			
グループ		社会教育グループ						
事業の概要	事業の種類別	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、所沢市生涯学習推進計画、所沢市子ども・子育て支援事業計画			社会教育法、所沢サマースクール実行委員会補助金交付要綱			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	家庭・地域の教育力の向上	
事業開始の背景	昭和59年名栗村菅山の家において、小学校6年生を対象に第1回所沢サマースクールが実施された。第3回より新潟県栃尾市において実施されていたが、新潟中越地震の影響で受け入れが難しくなり、第22回より栃木県塩谷町の廃校舎を利用した星ふるの学校「くまの木」で開催している。宿泊を伴う一定期間の青少年の自然活動、集団生活を行うことで社会性を身につけることを目的として、実行委員会に補助金を交付した。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	豊かな自然環境の中で夏休みに6泊7日の長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自立心を養い社会性を身に付けることを目的とする。また、所沢サマースクールを支援することにより、中学生・高校生・大学生リーダーを育成し地域の教育力の向上を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	5,692	人		
	小学校5年生・6年生			平成 27 年度	5,640	人		
事業の具体的な内容及び実施方法	事業実施のために実行委員会に対し補助金を交付する。実行委員会の活動に対して、事業開始から終了まで年間を通して支援を行う(研修会会場の確保、参加者募集、保護者説明会、出発式、現地視察など)。実行委員会は、参加者に対し、実費程度の費用負担を求めている。							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			360	360	360		
	決算(見込み含む)			360	360			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)			
	正規職員人件費	0.10 人	872	0.15 人	1,299			
	事業費合計			1,232	1,659			
財源内訳	一般財源	1,232		1,659		360		
国・県支出金								
その他( )								
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	小学校5・6年生	参加者数	人	56	72	100	120
		高校生・大学生リーダー	参加者数	人	14	19	25	30
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
成果指標	定員に対する参加率	定員に対する参加児童の割合	%	目標値	70	70	120	120
				実績	56	72	<input checked="" type="checkbox"/> 実績が拡大図る <input type="checkbox"/> 実績が縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	80	103	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	参加児童が中学生となってリーダーとなる人数が増えていることは、事業自体に魅力があることが理由と考えられる。新たに後進が生まれている好循環を生んでいるので、この状況を継続していく必要がある。							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	現地でのプログラム(星座観察・山登り・魚釣り・川遊び・キャンプ等)、参加児童の自主性に基づいたプログラムを実施する中で、より良いものに改善を図る。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	上記を達成するためには、必要な予算である。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	今年定員70名に対し、90名を超える応募があった。中～大学生リーダーの増加により、安全面についても問題は無いとの判断で全員を受け入れることになった。今後も安全面には細心の注意を払いながら、リーダーの育成と指導に団体で取り組んでいく必要がある。			参加児童がリーダーに、そして将来は運営に携わるサイクルを継続することが、この事業を続けていくためには必要であるため、安全面の徹底と魅力あるプログラムの2本柱を目標に掲げて取り組んでいく。				
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	社会教育課長 安田幸雄				
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	